

第2号議題 (2)近鉄・JR御所駅周辺地区交通戦略について【資料5】

令和6年11月15日(金)

- 地区交通戦略の策定について(ふりかえり)
- 総合交通戦略・地区交通戦略の課題と戦略目標
- 近鉄・JR御所駅周辺地区の戦略目標・実施方針・実施施策
- 地区交通戦略目標の事業内容について

■ 地区交通戦略の策定について(ふりかえり)

1-1 計画策定の目的と背景

御所市(以下「本市」という。)では、市全体の交通課題の解決を図るとともに、将来のまちづくり計画を実現していくため、都市交通施策をまとめた御所市総合交通戦略を令和5年3月に策定しました。

御所市総合交通戦略では、御所市全域の交通ネットワークを対象に、市域全域の交通課題の抽出、構想・方針の策定・実施プログラムの策定を行いました。

近鉄・JR御所駅周辺地区交通戦略(以下、『地区交通戦略』という。)は、市の交通拠点である近鉄・JR御所駅周辺地区(以下、『駅周辺地区』という。)について、御所市総合交通戦略で定めた内容をベースに、より詳細に検討・計画策定を行うものです。

また、地区交通戦略の策定にあたっては、駅周辺地区の核となる近鉄・JR御所駅前広場の整備基本計画と整合を計りながら検討を進めることとします。

1-2 地区交通戦略に関するこれまでの経過



1-3 計画の期間

地区交通戦略は、御所市総合交通戦略に合わせ、概ね10年後の2032年度(令和14年度)を計画目標年次とします。2027年度(令和9年度)までを短期、2028年度(令和10年度)以降を中・長期として実施プログラムを検討します。なお、施策の進捗状況等を踏まえ、必要に応じて計画の中間見直しを行います。

2023年度 (令和5年度)	2024年度 (令和6年度)	2025年度 (令和7年度)	2026年度 (令和8年度)	2027年度 (令和9年度)	
短期(5年)					
2028年度 (令和10年度)	2029年度 (令和11年度)	2030年度 (令和12年度)	2031年度 (令和13年度)	2032年度 (令和14年度)	2033年度～ (令和15年度)～
中・長期					

1-4 地区が目指す将来像

『地区交通戦略』は、御所市第6次総合計画、御所市都市計画マスタープランで示す御所市の将来像を受け策定された御所市総合交通戦略の中から、特に中心市街地のコア部分となる近鉄・JR御所駅周辺について示すものです。

■御所市の将来都市像

行きたい、住みたい、語りたい。
～自然と歴史を誇れるまち ごせ～

御所市第6次総合計画
(2021(令和3)年度～2029(令和11)年度)

御所市都市計画マスタープラン
(2022(令和4)年度～2031(令和13)年度)

■御所市が目指す都市交通の将来像

御所市総合交通戦略
(2023(令和5)年度～2032(令和14)年度)

行きたい、住みたい、語りたい。
～自然と歴史を誇れるまち ごせ～

■地区が目指す将来像

近鉄・JR御所駅周辺地区交通戦略
(2023(令和5)年度～2032(令和14)年度)

未来へつなぐ みんなのゲートウェイ

総合交通戦略・地区交通戦略の課題と戦略目標

総合交通戦略で挙げられた課題(及び戦略目標)から、地区交通戦略の対象範囲について抽出・課題の再設定を行い、地区交通戦略の課題として捉え直して整理します。
 戦略目標についても同様に総合交通戦略の戦略目標の中から抽出・再設定を行い、地区交通戦略の戦略目標として再定義するほか、ウォーカブルの視点など一部追加を行い、戦略目標として整理します。
 地区交通戦略の対象範囲は別途策定中の「近鉄・JR御所駅駅前広場整備基本計画」との関連が多いため、連携した計画づくりを行います(今回割愛)。

御所市総合交通戦略 (令和5年3月策定)

1. まちづくりに向けた交通

- ◎ 中心市街地の活性化へつなげる交通拠点の構築が必要
- ◎ 中心市街地の交通結節点としての機能向上が必要
- ◎ 市民・来訪者にとって、魅力ある歩いて楽しめる環境の構築が必要

戦略目標I: にぎわいを生み出す都市空間の創出

- (1) 近鉄・JR御所駅の交通拠点としての機能強化
- (2) 中心市街地周辺の道路ネットワーク強化
- (3) 観光来訪者向けの交通環境整備

2. 移動手段の確保に向けた交通課題

- ◎ 移動手段の転換、車がなくても生活できる交通環境の構築が必要
- ◎ 利用者の需要やニーズに応じた効果的で効率的な公共交通の運行、公共交通網の構築が必要
- ◎ 市民が公共交通を利用する機会の提供や意識の変化が必要
- ◎ 中心市街地と郊外部のアクセス環境の向上が必要

戦略目標II: 誰もが快適に利用できる移動手段の確保

- (1) 公共交通ネットワークの強化
- (2) 公共交通の利便性向上
- (3) 公共交通の利用促進

3. 企業立地の促進に向けた交通課題

- ◎ 若者が市内で働く場、通勤・移動環境の構築が必要
- ◎ 都市間交流を支える交通ネットワークの早期構築が必要

戦略目標III: 市内外を効果的に結ぶ道路ネットワークの構築

- (1) 広域道路ネットワークの強化
- (2) 市内幹線道路ネットワークの強化

戦略目標IV: 「働く場」を創出する交通環境の構築

- (1) 広域道路ネットワークの強化
- (2) 市内幹線道路ネットワークの強化

4. 「安全・安心」の確保に向けた交通課題

- ◎ 防災・減災を向上させ、安心して暮らすことのできる道路空間の構築が必要
- ◎ 日常生活で高齢者や子ども等の交通弱者が安全に移動できる環境の構築が必要

戦略目標V: 「安全・安心」な移動ができる道路空間の確保

- (1) 移動しやすい歩行者・自転車利用環境の整備
- (2) 道路の防災・減災機能の強化・充実
- (3) 多様な交通手段における交通安全対策の実施

総合交通戦略から、課題(及び戦略目標)を抽出・再設定(一部追加)

近鉄・JR御所駅周辺地区交通戦略

地区交通戦略における課題

① 駅周辺の交通結節点機能・交流機能強化

- 中心市街地の活性化へつなげる交通拠点の構築が必要
中心市街地に人口と都市機能が集中しているが、市内郊外から中心市街地へのアクセス性が弱い
- 中心市街地の交通結節点としての機能向上が必要
大阪府・京都府・和歌山県へのアクセス利便性の高さが活かされていない
- 効果的で効率的な公共交通の運行を支える整備が必要
交通弱者の外出・移動機会創出のため、コミュニティバスとデマンドタクシーを運行の拠点となる整備が必要

② 地区内交通ネットワークに関する課題

- 南北に縦断する鉄道敷、国道24号による東西方向の分断の解消
近鉄JR線路による駅前広場(予定)・市庁舎・複合施設との分断
- 市民・来訪者にとって周辺施設へアクセスしやすい環境の構築が必要
駅前広場(予定)・市庁舎・複合施設整備に合わせた、既存沿道利用者にとっても利用しやすい道路整備が不可欠
- 就労環境を支える、『働く場』へのアクセス確保
交通結節点から産業集積地へのアクセス機能が不足

③ 地区内交通に関する安全性・利便性・快適性の向上

- 歩行者・自転車利用者ともに使いやすい環境の整備が必要
誰もが安全・安心に暮らすことのできる都市空間の実現が重要
- 防災・減災を向上させ、安心して暮らすことのできる道路空間の構築
災害発生時に被害を最小限に抑える都市防災機能の向上が重要
- 市民・来訪者にとって、魅力ある歩いて楽しめる環境の構築が必要
人口減少と若者世代の流出への対応、観光来訪者向けの交通環境整備が必要

地区交通戦略における戦略目標

戦略目標I: にぎわいを創出する都市空間コアの形成(ゲートウェイ施策・事業)

本市の玄関口である近鉄・JR御所駅は中心市街地の中でも重要な拠点であり、公共交通ネットワークの中心拠点となります。近鉄・JR御所駅が一体となった駅前空間の整備、中心市街地のまちづくりを進め、地域ににぎわいを生み出す空間の核の形成を目指します。
 また地区内交通ネットワークと合わせて交通結節点としての特性を活かし、産業集積地への交通アクセスの確保など、企業進出を促進するための交通施策を展開していきます。

戦略目標II: 地区内交通ネットワークの再構築(アクセス施策・事業)

まちづくり計画と生後した計画的な道路整備を実施することで、市民や来訪者が集い、交流するための空間づくりを目指します。
 駅周辺のアクセスについて、多様な交通手段に対応し、すべての人が円滑に移動できる交通環境の形成に努めます。

戦略目標III: 『安全・安心・楽しい』移動ができるみち空間の確保(ウォーカブル施策・事業)

誰もが安全・安心に暮らすことのできる都市空間の実現に向けて歩行者が安心して移動できる歩行者空間の整備を進めます。自転車通行空間の確保や駐輪場の整備等を進めることで、自転車の利用環境を向上させます。
 また近年導入が進む「ウォーカブル」の視点を検討し、近鉄・JR御所駅周辺地区及びその周辺が市民や観光客にとって「歩いて楽しい」地区となるよう計画します。

■ 近鉄・JR御所駅周辺地区の戦略目標・実施方針・実施施策

総合交通戦略の戦略目標、地区交通戦略の戦略目標から体系化(パッケージ化)した事業内容を設定します。

総合交通戦略との整合を図る観点から事業内容との対応を踏まえつつ、近年導入が進む「ウォークアブル」の視点を検討し、近鉄・JR御所駅周辺地区及びその周辺が市民や観光客にとって「歩いて楽しい」地区となるよう計画します。

戦略目標	施策実施方針	実施施策	事業内容	総合交通戦略との対応	実施主体(◎)、推進協力主体(○)	短期					中・長期
						R5	R6	R7	R8	R9	R10~
【戦略目標I】 にぎわいを創出する 都市空間コアの形成 (ゲートウェイ施策・事業)	(1)近鉄・JR御所駅の交通拠点としての機能強化	1) 近鉄・JR御所駅が一体となった駅前空間の整備	近鉄御所駅の移設	I-(1)-1)	◎:御所市 ○:鉄道事業者	計画・調査・設計・工事					
			近鉄・JR御所駅が一体となった駅前広場の整備	I-(1)-1)	◎:御所市 ○:警察、公共交通事業者	計画・調査・設計・工事					
			自由通路の整備	I-(1)-1)	◎:御所市 ○:鉄道事業者	調査・設計・工事					
			ペDESTリアンデッキの整備	I-(1)-1)	◎:御所市		計画・調査・設計・工事				
			駅前駐車場の整備	I-(1)-1)	◎:御所市	計画・調査・設計・工事					
			公共交通結節点の待合環境の整備	II-(3)-1)	◎:御所市 ○:公共交通事業者	計画・設計・工事					
		2) 観光来訪者向けの機能強化	来訪者をもてなす駅前空間の高質化	—	(調整中)	(調整中)					
			大型バスが発着できる駅前ロータリーの整備	I-(3)-1)	◎:御所市 ○:バス事業者	計画・調査・設計・工事					
			案内サイン整備(地区内)	I-(2)-1)	◎:御所市 ○:御所市観光協会		設計・整備				
【戦略目標II】 地区内交通ネットワークの再構築 (アクセス施策・事業)	(1)中心市街地周辺の道路ネットワーク強化	1) 駅周辺アクセス道路の整備	周辺市道の整備	I-(2)-1)	◎:御所市	計画・調査・設計・工事					
			東西アクセス道路の整備	I-(2)-1)	協議中	協議中					
			駅前から産業集積地への移動手段の確保(路線バス、コミュニティバス等)	IV-(2)-1)	◎:御所市 ○:国、県、バス事業者	検討					
【戦略目標III】 『安全・安心・楽しい』移動ができるみち空間の確保 (ウォークアブル施策・事業)	(1)移動しやすい歩行者・自転車利用環境の整備	1) 安心して歩ける歩行空間の整備	安心して歩ける歩行空間の整備	V-(1)-1)	◎:御所市、国、県	調査・設計・工事					
			歩行空間におけるバリアフリー化の推進	V-(1)-1)	◎:御所市、国、県	調査・設計・工事					
			駅周辺のバリアフリー化	I-(2)-1)	◎:御所市、国、県、警察 公共交通事業者	計画・調査・設計・整備					
			国道24号の歩道改良	I-(2)-1)	◎:御所市、国	計画・調査・設計・整備					
			歩いて楽しい高質なみち空間整備	—	(調整中)	(調整中)					



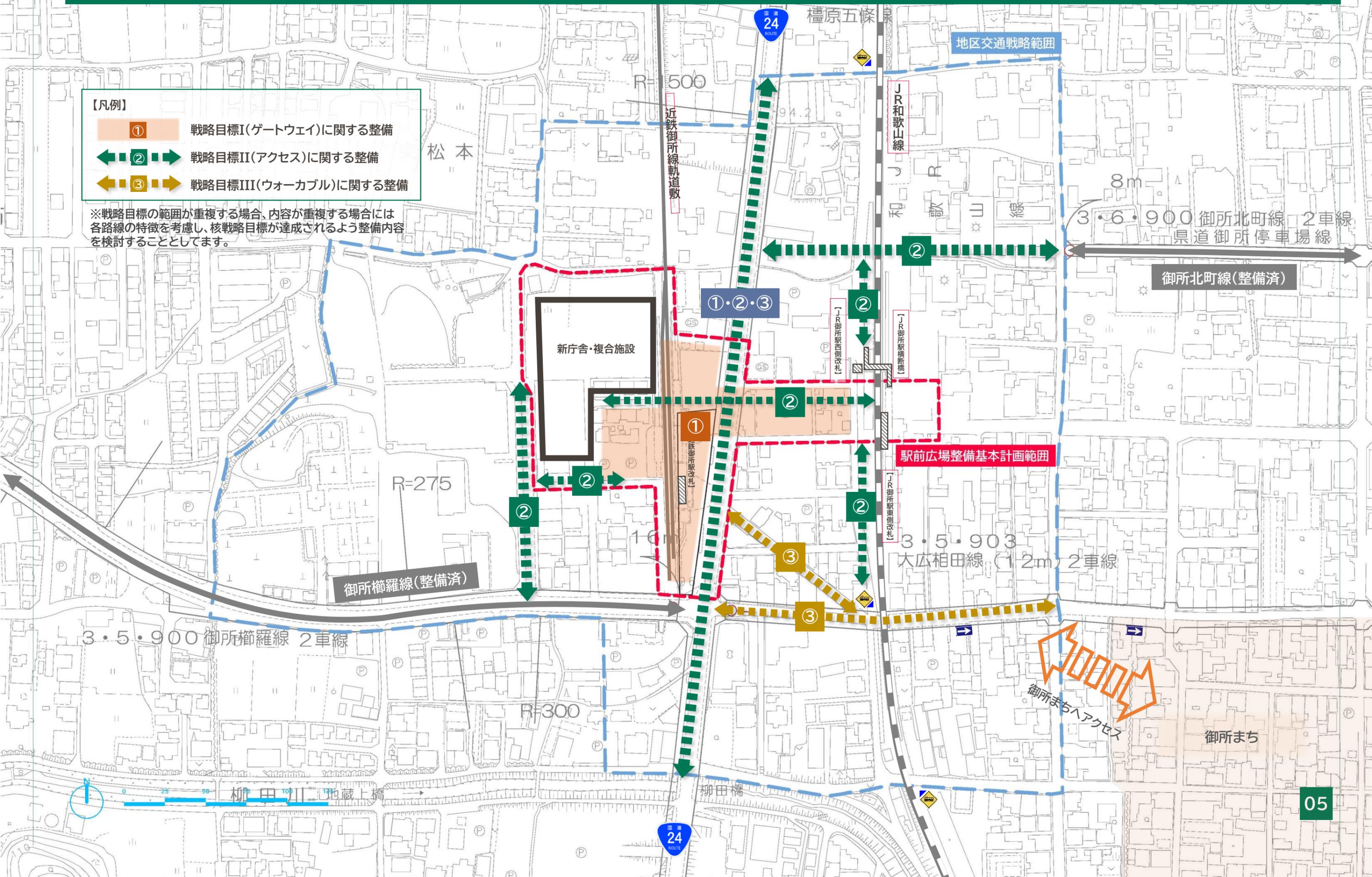
(ウォークアブル事業の一例)

■ 地区交通戦略の周辺地区と戦略目標(案)の関係

【凡例】

- ① 戦略目標I(ゲートウェイ)に関する整備
- ② 戦略目標II(アクセス)に関する整備
- ③ 戦略目標III(ウォークブル)に関する整備

※戦略目標の範囲が重複する場合、内容が重複する場合には各路線の特徴を考慮し、核戦略目標が達成されるよう整備内容を検討することとしています。



■ 地区交通戦略目標の事業内容について

【戦略目標 I】にぎわいを創出する都市空間コアの形成(ゲートウェイ施策・事業)

(1) 近鉄・JR御所駅の交通拠点としての機能強化

1) 近鉄・JR御所駅が一体となった駅前空間の整備

【事業目的】

近鉄・JR御所駅の交通結節点としての機能を向上させ、人が集う駅前空間を創出し、魅力ある駅周辺のまちづくりを進めていくために必要な交通関連施策を展開していきます。

【事業内容】

■ 近鉄御所駅の移設

公共交通(バス、タクシー、コミュニティバス等)の発着が可能な駅前広場を整備するため、近鉄御所駅を北側へ移設します。

■ 近鉄・JR御所駅が一体となった駅前広場の整備

近鉄御所駅の移設により生まれる空間を利用し、近鉄とJRの御所駅を1つの駅として利用できるような駅前広場の整備を行い、交通結節点としての機能を高めます。

駅前広場には、バスやタクシー、自家用車などの乗降場のほか、近鉄とJRを結ぶ安全な歩行者専用のバリアフリー動線や人が集うことのできる環境空間などの整備を行います。

また、近鉄御所駅の西隣にある市有地に、商業施設などと一体となった複合庁舎を整備し、駅の改札を出て雨に濡れずに市役所や商業施設、銀行などにアクセスできるようにすることで、駅前の生活機能を維持するとともに、御所駅の魅力、利便性を高めます。

■ 自由通路の整備

JR御所駅は、JR和歌山線により東西分断しており、歩行者は自由に駅の東西を往来することができません。

東西分断を解消し、近鉄からJRにかけての一体のまちづくりを進めるため、JR御所駅の東側と西側を自由に行き来できるバリアフリー化された歩行者専用の自由通路を整備します。

■ ペDESTリアンデッキの整備

近鉄御所駅に隣接して整備する複合庁舎からJR御所駅(西側)にかけて、国道24号を安全に横断できるバリアフリー化されたペDESTリアンデッキ(空中歩廊)を整備します。

このペDESTリアンデッキと自由通路を繋げることで、複合庁舎・近鉄御所駅からJR御所駅(東側・改札口)までを結ぶバリアフリーの歩行者専用通路となり、両駅の一体性が高まります。

JR東側(改札口)からも、車や電車とすれ違うことなく、安全・安心に近鉄御所駅や複合庁舎へアクセスできるようになり、鉄道利用者の利便性が高まるとともに、高齢者や障がいのある方も駅周辺で安全・安心に生活ができるようになります。

■ 駅前駐車場の整備

環境負荷軽減と交通渋滞緩和を図るため、交通結節点となる駅前を拠点としたP&R(パークアンドライド)の検討を進めるとともに、自家用車での送迎の円滑化、商業施設と一体となった複合庁舎へのアクセス性向上のため、駅前駐車場の整備を行います。

■ 公共交通結節点の待合環境の整備

交通結節点となる近鉄・JR御所駅に隣接して整備する新庁舎の1階口ビーには、ゆっくり休憩や読書などをしながら公共交通などを待つことができる空間の整備を行います。

また、複合庁舎の空き会議室等を活用した体験教室やサークル活動などにより、駅周辺での公共交通の待ち時間を有効に利用できる仕組みづくりを検討します。

2) 観光来訪者向けの機能強化

【事業目的】

本市には葛城山や葛城一言主神社をはじめとする様々な観光資源が点在しており、これらの観光資源を活かすため、近鉄・JR御所駅等の鉄道駅と観光地を結び付けるなど、公共交通による観光客の移動支援を行います。

【事業内容】

■ 来訪者をもてなす駅前空間の高質化

御所市の中心部である近鉄・JR御所駅周辺の高質化により、観光来訪者が歩きたくなる空間形成、憩いと交流の場の創出、緑化による都市景観の向上を図り、御所市の玄関(ゲートウェイ)としての場所づくりを進めます。

■ 大型バスが発着できる駅前ロータリーの整備

御所駅前に観光需要に対応したバスが発着できる駅前ロータリーを整備し、公共交通の利便性を高めるとともに、観光客に対する移動支援を行い、回遊性の向上を図ります。

■ 案内サイン整備(地区内)

観光地としての魅力発信や本市を訪れる観光客等のニーズに応えていくため、本市の玄関口である近鉄・JR御所駅前に観光案内所の整備を行うとともに、観光案内板の整備や多言語化への対応などを進めていきます。



葛城高原自然つつじ園



葛城山ロープウェイ

■ 地区交通戦略目標の事業内容について

【戦略目標II】地区内交通ネットワークの再構築(アクセス施策・事業)

(1) 中心市街地周辺の道路ネットワーク強化

1) 駅周辺アクセス道路の整備

【事業目的】

近鉄・JR御所駅の交通結節点としての機能を高めるため、両駅へアクセスする道路を整備し、誰もが快適に利用できる環境を整えます。また、観光客やバリアフリーにも配慮した道路整備を行います。

【事業内容】

■ 周辺市道の整備

近鉄御所駅の西側に計画している複合庁舎や駅前広場へのアクセス性を高めるため、市道70号の改良を行います。その他の市道についても、駅前広場などへのアクセス性を高めるための検討・整備を行います。

■ 東西アクセス道路の整備

駅周辺には国道24号と御所IC周辺を結ぶ東西道路がないため、車は狭い商店街や御所まち周辺の生活道路を通り抜けています。

御所IC～国道24号間を繋ぐ東西アクセス道路を整備することで、新しい駅前から御所IC周辺へのアクセス性を高めるとともに、生活道路への車の通り抜けを抑制します。

■ 駅から産業集積地等への移動手段の確保(路線バス、コミュニティバス等)

車がなくても鉄道駅から産業集積地等へ通勤・移動ができる環境を整えていきます。路線バスやコミュニティバスの運行など、企業の進出状況や需要に応じて関係者との調整を行います。



図：駅から御所IC周辺への送迎動線のイメージ

※本図はまちづくりのイメージ図であり、位置や規模等を正確に表現したものではありません。また、今後の調整により内容が変更となる場合があります。

【戦略目標III】「安全・安心・楽しい」移動ができるみち空間の確保(ウォーカブル施策・事業)

(1) 移動しやすい歩行車・自転車利用環境の整備

1) 安心して歩ける歩行空間の整備

【事業目的】

誰もが安全・安心に暮らすことができる都市空間の実現に向け、歩行者が安心して歩ける歩行空間の整備・歩行空間におけるバリアフリー化の推進を行います。

【事業内容】

■ 安心して歩ける歩行空間の整備

歩行者が多い道路等について、歩道の改良、カラー舗装等による歩行空間の明確化など、安心して歩ける歩行空間の整備を検討します。

■ 歩行空間におけるバリアフリー化の推進

バリアフリー基本構想(2023年(令和5年)3月策定予定)に基づき、道路のバリアフリー化を進めます。

■ 駅周辺のバリアフリー化

近鉄・JR御所駅周辺には、高齢者や障がい者の方も日常的に利用する多くの生活関連施設が集積しており、全ての人が安全・安心して移動ができるように、バリアフリー基本構想(2023年(令和5年)3月策定予定)に基づき、駅及び駅周辺のバリアフリー化を進めていきます。

■ 国道24号の歩道改良

近鉄・JR御所駅から南側にかけての国道24号沿いには、駅からの徒歩圏内に市内で唯一の救急指定病院となっている済生会御所病院があるほか、中高一貫の県立青翔中学・高等学校、高田警察署御所庁舎、災害時の拠点となる御所市防災交流館など、重要な施設が点在しています。

新しく生まれ変わる駅前から、これらの施設まで高齢者や障がいのある方も安全に歩いてアクセスできるようにするため、まちづくりにあわせて国道24号の歩道整備を国と連携して進めていきます。

■ 歩いて楽しい高質なみち空間

御所市の中心部である近鉄・JR御所駅周辺と「ごせまち」商店街を結ぶみち空間について、クルマ中心からヒト中心の空間形成を進め、地域の多様な主体の活躍の受け皿となる、人々が集い・憩い・多様な活動を繰り広げられる場としての「みち空間」(ウォーカブルな空間)の形成を目指します。



国道24号 駅周辺の歩道